

下記のA, Bに答えよ。

(30点)

A 次の問1～3について、最も適切な答を記せ。(12点)

1 次の文のうち、誤りを含むものを2つ選べ。

イ 初代ローマ教皇は、ガリラヤの漁夫出身でローマで伝道活動を行った使徒パウロである。

ロ ローマ教皇レオ1世は、フン人やヴァンダル人がローマに侵入した際、彼らと会談してローマを破壊から守った。

ハ ローマ教皇グレゴリウス1世は、アングロ=サクソン人などゲルマン諸族への伝道に努めた。

ニ ローマ教皇レオ3世は、フランク王国のカールにローマ皇帝の帝冠を与えた。

ホ ローマ教皇ヨハネス12世は、ザクセン朝のハインリヒ1世に加冠し、初代神聖ローマ皇帝に任じた。

2 次の文のうち、誤りを含むものを2つ選べ。

イ ローマ教皇グレゴリウス7世は、聖職叙任権をめぐる神聖ローマ皇帝ハインリヒ4世と争った。

ロ ローマ教皇カリクストゥス2世は、神聖ローマ皇帝フリードリヒ1世との間にヴォルムス協約を締結した。

ハ ローマ教皇インノケンティウス3世は、“教皇権は太陽であり、皇帝権は月である”と述べたとされる。

ニ イギリス国王ヘンリ3世は、カンタベリ大司教の任命をめくり、ローマ教皇インノケンティウス3世と争った。

ホ フランス国王フィリップ4世は、ローマ教皇ボニファティウス8世に対抗するため三部会を召集した。

3 次の文のうち、誤りを含むものを2つ選べ。

イ ローマ教皇ウルバヌス2世は、クレルモン宗教会議に際し、イスラーム圏への遠征を提起した。

ロ ローマ教皇アレクサンデル6世は、海外でのスペイン・ポルトガルの領土分割に介入した。

ハ ローマ教皇パウルス3世は、イエズス会設立を容認し、トリエント公会議を召集した。

ニ ルネサンス期に学芸を保護したことで知られるフッガー家出身のローマ教皇レオ10世は、ドイツで贖宥状を販売した。

ホ ローマ教皇ユリウス2世は、九十五カ条の論題を提起したドイツの神学者ルターを破門した。

B 次の空欄 a～f に当てはまる最も適切な語句を記せ。(18点)

- 1 カロリング朝の は、8世紀半ばにランゴバルド王国を攻撃し、かつて東ゴート王国の首都であった などを獲得してローマ教皇に寄進した。
- 2 14世紀に“教皇のバビロン捕囚”を経験したローマ=カトリック教会は、さらにその後ローマと の2カ所に教皇が立てられるという大シスマ、すなわち教会大分裂の時代を経験した。しかし、1414年に始まった 公会議により、ローマ教会は再統一された。
- 3 ローマ教皇ピウス7世は、1801年にフランスのナポレオンとの間で宗教協約（コンコルダート）を結んだ。これと同様の協約は、1929年にローマ教皇ピウス11世とイタリア首相 との間でも結ばれた。この 条約によって、1870年にイタリアが教皇領を占領して以来続いていたイタリア王国とローマ教皇庁との対立が解消された。